

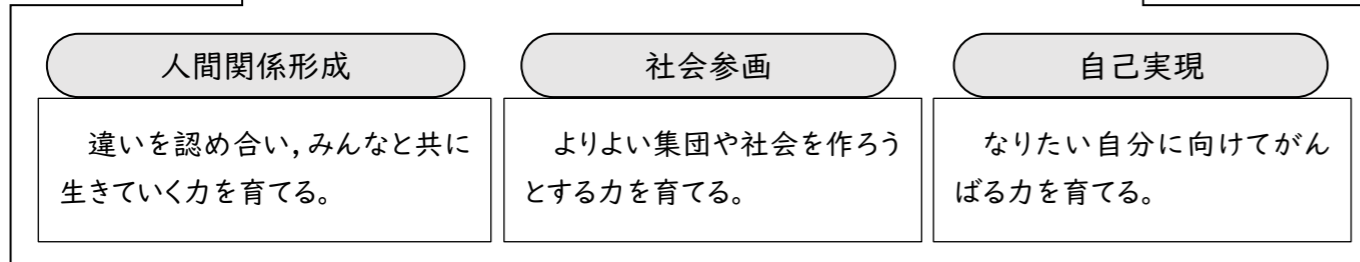
研究主題 安心できる学級・学校づくり ～生徒指導の三機能を生かし、子どもの主体性を育てる～

議題 「5年生の絆パワーアップ大作戦!学年お楽しみ会を開こう」 (1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

1. 学級活動(1)で育成を目指す資質・能力

- 学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けるようにする。
- 学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践することができるようにする。
- 生活上の諸問題の解決や、協働し実践する活動を通して身に付けたことを生かし、学級や学校における人間関係をよりよく形成し、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。

育成すべき資質・能力の重要な視点



2. 第5学年及び第6学年における評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 合意形成の手順や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

3. 議題について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、何事にも意欲的に活動することができ、学習や行事、係活動、委員会活動などに進んで取り組む姿が見られる。さらに、男女の仲も良く、みんなで意見を出し合いながら協力して活動する場面が多く見られる。しかし、児童同士が関わる中で、相手の気持ちを考えずに、つい自分中心の言動をしてしまう児童もおり、友達との関わり方に課題がある児童もいる。授業においては、自分の考えを持ち、ペアやグループ活動で表現することはできるが、全体の場で発表することが苦手な児童もいるため、学級全体での話し合いが一部の児童の意見で進んでしまうこともある。そこで、4月から「友だちを大切にすることができ、みんなが安心して過ごすことができる学級」にするために、相手の話をしっかりと聞いて受け入れるということも大切にしてきた。それを積み重ねることにより、少しずつではあるが、友だちの意見を聞いたり、友だちの考えと自分の考えを比べて考えたりすることに関心を持ち、相手の意見を聞き受け入れることができつつある。

学級活動については、計画委員を輪番制にすることで、どの子も役割を持ち、児童から出てきた議題をもとに月に1回程度、学級会を行ってきた。計画委員の活動も2周目に入り、1つ以上の役割を全員が経験してきたことで、話し合いを計画委員任せにせず、学級全体で進めていこうという姿勢が見られるようになってきた。今年度は、4月当初に1年間の見通しを立てる中で、みんなでやりたいことを一人一人が考え、「5-2やりたいことリスト」を作成した。一学期は、まず、そのリストをもとに「クラスの仲を深めるためにレクをしよう」という議題で学級会を行った。その後も、クラスに新しく加わった転校生のために歓迎会を計画するなど、クラスのみんが楽しく過ごすためにできることを考え、実行してきた。初めは、それぞれがやりたいことを実現させたいという思いもあり、「まとめる」までいかないこともあったが、回を重ねるごとに、友だちの意見を受け止めながらみんなで協働して取り組むことの良さを実感してきている。また、計画委員が事前の準備を行い、「出し合う」「比べ合う」「まとめる」の話し合いの流れを意識して進めることには慣れてきて、少しずつ自分たちの力で進めようとする姿や心配なことや不安なことも安心して発表する姿が見られるようになってきた。

(2) 議題選定の理由

本議題は、「5-2やりたいことリスト」に挙げられていた、クラスを超えて学年全体でお楽しみ会をしたいという思いから選定された。6月に実施した宿泊学習では5年生全体が協力して活動することによって、絆が深まったことを実感することができた。その後も、運動会や陸上記録会を通して、互いに高め合い、協力しながら心身共に成長することができている。しかし、学校行事以外での交流は少なく、5-2では学級全体の絆を深めるためにお楽しみ会やギネスチャレンジ、キャラクター作りを行ってきたが、5年生全体が協力して絆を深める活動はほとんどできていない。休み時間の様子からも、クラスのメンバー同士で関わるが多く、決まった人とばかり遊んだり、活動したりする様子が見られる。本時の話し合いや実践をきっかけに、来年度はクラス替えがあり今のメンバー以外とも過ごすことを意識しながら、学年全体で学校全体を引っ張っていく立場になるという見通しを持ちながら、学年全体の絆を深めていきたい。

4. 指導と評価の計画

事前の活動 本時の展開 事後の活動

日時	計画委員の活動計・学級全員の活動学 指導上の留意点(・)
11月21日(月) ①昼休み ②帰りの会	①議題の決定・役割分担計 ・やりたいことリストや議題カードをもとに話し合う議題を決める。 ・学級会の進行の仕方を確認する。 ②議題の周知計 ・提案理由を明らかにして、学級全員に伝え、学級会コーナーに掲示する。
11月22日(火) ③朝の会 ④昼休み	③案募集計 ・学級会ノートに自分の考えを記入する。 ④案の整理計 ・学級会ノートに目を通し、書かれた意見を整理する。
11月24日(木) ⑤昼休み	⑤学級会のシュミレーション計 ・進行、板書をイメージしながら確認し、話し合いの見通しをもてるようにする。

本時のねらい いろいろな人と関わり、仲を深めるための工夫と内容を考えることができる。		
話し合いの順序	気をつけること ○留意点	◎目指す児童の姿 (観点)【評価方法】
1 はじめの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認	・めあてをもって自分の役割に臨めるようにする。	
4 提案理由の確認	・提案者の思いや願いを全員が理解し、学級全員の問題であることを確認する。	
5 めあての確認	『5年生全体の絆を深めるためにみんなのできることを考えよう』	
6 決まっていることの確認	・決まっていることを確認する。 ★日時、場所、各クラス1つ(5-1と同じ内容はしない) ○前時までの取り組みの良かったところと期待を伝え、本時の意欲を高める。	
7 先生の話	・「比べ合う」から進められるように、事前にいろいろな人と関わるためにどんな工夫ができるかの案を書いて集計しておき、短冊に書いておく。	
8 話し合い 話し合うこと① 「内容は何かをするか。」 話し合うこと② 「どんな工夫ができるか。」	・話がずれたり意見が止まったりした時には、前の人の意見をつないで話し合いができるよう司会が促す。 ○司会が進行に困ったときは方向性を示唆する。 ○必要に応じて、提案理由に沿ったものかどうか、考えられるよう助言する。	◎5年生全体の仲を深めるために何を大切に何ができるか、根拠を明確にしながら発言したり、友だちの意見と比べて聞いたりしている。 (思考・判断・表現) 【観察・発言】
9 決まったことの発表 10 振り返り	○自分自身や友だちの成長したところや次に繋がる課題等について書いてある振り返りを紹介する。	
11 先生の話 12 おわりの言葉	○提案理由を意識した発言や建設的な発言をしていた児童を称賛する。 ・実践への意欲が高まるように言葉掛けを行う。	

日時	計画委員の活動計・学級全員の活動学 指導上の留意点(・)
11月28日(月) ①②朝の会	①決まったことを知らせる計 ・学級会で決めた要点をまとめて伝えられるよう助言する。 ②役割分担学 ・決まったことをふまえて役割を決める。
12月1日(木) ③昼休み	③5-1との打ち合わせ計 ・会の流れと気をつけることを確認する。
12月2日(金) ④学級活動	④イベントの実施学 ・ねらいを確認し、協力して実践できるようにする。 ・協力したり工夫したりして活動している児童を称賛する。
12月9日(金) ⑤帰りの会	⑤振り返り学 ・めあてに基づいた振り返りを行う。 ・自分の役割や友だちの良さについても振り返り、自他の頑張りを認められるよう助言する。

◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】  
◎学年お楽しみ会への見通しをもち、意欲的に取り組もうとしている。  
(主体的態度)  
【提案カード・観察】  
◎5年生全体の仲を深めるために大事にしたいことを学級会ノートに書いている。  
(知識・理解)  
【学級会ノート・観察】

◎目指す児童の姿(観点)【評価方法】  
◎学年お楽しみ会を振り返り、自他の頑張りに気付いたり、次の活動に生かそうとしていたりしている。  
(主体的態度)  
【行動観察】  
◎自分たちで決めためあてを意識し、友だちと協力して取り組んでいる。  
(思考・判断・表現)  
【行動観察・振り返りカード】

5. 板書計画

**めあて** 5年生全体の絆を深めるためにみんなのできることを考えよう。

**決まっていること** 十二月二日 五時間目  
・体育館が運動場  
・五年一組と同じ内容はしない

**話し合うこと①** 内容は何かをするか。  
くらべあう  
ドッチボール大会  
リレー  
フルーツバスケット  
クイズ大会

**話し合うこと②** どんな工夫ができるか。  
話し合うこと②  
出し合う  
一組の人と関わる  
男女関係なく仲良くする  
協力して準備や活動をする  
クラスをまぜてチームを作る

**まとめ** ふりかえり

**議題** 五年生の絆パワーアップ大作戦！学年お楽しみ会を開こう。

**提案理由** たくさん行事があった二学期、五年生みんなで力を合わせて頑張ってきました。三学期や来年度に向けて、クラスを超えて、学年でお楽しみ会を開くことで五年生全員と関わり、今まで以上に絆を深めたいからです。